

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	すだちクラブ		
○保護者評価実施期間	2024年11月7日		2024年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	2024年11月1日		2024年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月5日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○立地が良いため、立地を活かした活動を提供できています。例えば、近隣公園や体育館で感覚統合遊びを行っています。好きな遊びのなかで、自然と身に付けることができるスキルです。遊びながら楽しみながら社会性や学習の土台を作っています。	○近隣公園には徒歩や車で移動しています。子供たちから要望があるボウリングやカラオケを楽しむことで将来の余暇や趣味の幅を広げることができています。また、長期休業時は電車やバスなどで移動する経験を積んだり、買い物体験を行い、電卓の使い方や時間を意識した行動がとれるよう繰り返し練習しています。	○生活年齢相応の移動スキルの獲得を目指しています。交通ルールの理解や公共機関でのマナーなどを体験しながら学び、ひとりで行動できる力や社会のなかで生きていくために必要な力を身に付けていきます。
2	○支援プログラムやマニュアルが整っているため、適切な支援を行うことができます。全ての子供たちにフォーマルアセスメントを実施し現状を把握します。同時に日頃から子供たちの様子を観察、細かく記録することで行動分析ができています。それを踏まえて子供たちの強みを最大限に活かした支援計画を作成することができています。また、ソーシャルスキルトレーニングなどの集団活動、ペアレントトレーニングなど実施しているため社会性のスキルアップが見込まれます。実際に弊所を利用する子供たちは生活年齢相応のコミュニケーションスキルを獲得することができています。	○非常時等の対応、安全管理を徹底しているため、安心安全に活動できています。また、定期的な虐待防止研修を行っているため、統一した支援を行うこともできています。ヒヤリハット事例は直ぐに改善、再発防止に努めています。 ○学校生活や将来の就労に向けて、生活年齢相応のコミュニケーションスキルの獲得や、集団参加スキルの獲得を目指しています。	○学校や他の福祉関係者と連携しながら、弊所で身に付けたスキルを学校生活や日常生活に般化させ、地域のなかでサポートを受けながら何事にも前向きに取り組んでいく力を身に付けていけるよう支援していきます。
3	○『リラックス&リフレッシュ』を施設目標に掲げているため、子供たちが安心して通所できる事業所となっています。また、集団療育が主の事業所ですが、集団のなかでも子供たちそれぞれに合わせて丁寧に支援を行っているため、情緒が安定し、楽しく過ごすことができます。 ○遊びながら楽しみながら色々な経験ができる事業所で、自然と人と関わりが増えるような仕組みを作っています。 ○外部アドバイザーによる評価を受けているため、業務管理などにおける継続的な改善を実現することができています。	○社会性の基礎である自己統制スキルを獲得します。子供に合わせて療育を行い、個別支援も行っています。学んだことを余暇活動に般化させ、人と関わりながらスキルを身に付けることができています。○月1回、『すだちだより』を発行しており、保護者様や相談員の方に月毎に様子をお伝えしています。また、日々の記録を写真付きで公開しているため、リアルタイムでお子様の様子を確認することができます。	○更に保護者支援を充実させます。利用するお子さんだけでなく、保護者様の不安や悩みなども軽減できるようサポートしていきます。また、先を見据えて様々な情報を提供し、お子さんや保護者の方の選択肢の幅が広がるよう支援していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○部屋が少ない、狭い ○バリアフリーでない	○建物の構造上の問題	○限られたスペースで空間や場所、時間を分けて、そのエリアのなかで誰が何をするのか理解しやすくするなどの工夫をしています。 ○それぞれのお子さんに合わせてできる限りの配慮を行っています。
2			
3			